

2021年12月24日

各 位

## 「特定セクターに対する投融資方針」の公表について

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、環境・社会に負の影響を助長する可能性が高い「特定セクター」に対する投融資方針を公表しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、「潤いと活力ある地域の明日を創る」という企業理念に基づき、環境・社会課題の解決に資する投融資を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### ○基本的な考え方

投融資においては、環境・社会に負の影響を助長する可能性が高いセクターに対し、認識すべき環境・社会のリスク等を示し、リスクの低減・回避に向け、お客さまの対応状況を確認する等、各々の特性を踏まえた対応を実施のうえ取引判断を行います。

#### ○特定セクターに対する投融資方針

セクター	対応方針
石炭火力発電事業	石炭火力発電は、他の発電方式と比較して温室効果ガス排出量が多く、気候変動や大気汚染の懸念が高まるリスクを内包しており、新規の石炭火力発電所建設を資金使途とする投融資は取り組みません。
パーム油・木材加工事業	パーム油・木材加工等、森林伐採を伴う事業は、違法伐採による環境問題に加え、地域住民の権利侵害や児童就労等の人権問題の発生するおそれがあります。 投融資においては、環境への影響や地域住民とのトラブルの有無、児童就労の有無等に十分留意し、取組みを検討します。
クラスター爆弾製造事業	公共性や人道上的観点から、クラスター弾の製造を行っている企業に対する投融資については、資金使途に関わらず禁止します。

以 上